

○聖書の知恵を追い求めて：

1. 知恵の根源はどこか？：_____ (1)

※1 列王記 3:7-10

「わが神、主よ。今、あなたは私の父ダビデに代わって、このしもべを王とされました。しかし、私は小さい子どもで、出入りするすべを知りません。そのうえ、しもべは、あなたの選んだあなたの民の中におります。しかも、彼らはあまりにも多くて、数えることも調べることもできないほど、おびたしい民です。善悪を判断してあなたの民をさばくために聞き分ける心をしもべに与えてください。さもなければ、だれに、このおびたしいあなたの民をさばくことができるでしょうか。」この願い事は主の御心になかった。ソロモンがこのことを願ったからである。」

※列王記 4:34

「ソロモンの知恵を聞くために、すべての国の人々や、彼の知恵のうわさを聞いた国のすべての王たちがやって来た。」

2. 知恵の目的は何か？：三つの目的(2-3)

1) _____ をもたらすもの(2a)

▶「学び」

※創世記 4:1

「人は、その妻エバを知った。彼女はみごもってカインを産み、「私は、主によってひとりの男子を得た」と言った。」

▶「知恵」

※出エジプト記 31:6

「…わたしはすべて心に知恵のある者に知恵を授けた。彼らはわたしがあなたに命じたものを、ことごとく作る。」

※詩篇 107:27

「彼らは酔った人のようによろめき、ふらついて分別が乱れた(2017 知恵はことごとく呑み込まれた)。」

▶「訓戒」

「皆さん。申し訳ありませんが、私たちは生まれながらに知恵があるわけではありません。知恵は主の教えと訓練を通して、懲らしめと矯正を受けながら、苦勞して身に付けていくものです。それは私たちにとって好ましいものではありません。屈辱的に感じることもあります。自分が間違っていると認めるのは難しいことです。しかし、私たちがどれだけ素直に教えを受け入れられるかによって、知恵における成長度合いは決まるのです。」(レイ・オートランド)

※箴言 12:5

「愚か者は自分の道を正しいと思う。しかし知恵のある者は忠告を聞き入れる。」

2) _____ をもたらすもの(2b)

▶「理解する」

▶「悟りのことば」

※詩篇 119:97-99

「どんなにか私は、あなたのみおしえを愛していることでしょうか。これが一日中、私の思いとなっています。あなたの仰せは、私を私の敵よりも賢くします。それはとこしえに、私のものだからです。私は私のすべての師よりも悟りがあります。それはあなたのさとしが私の思いだからです。」

3) _____ をもたらすもの(3)

▶「正義」

▶「公義」

▶「公正」

※1 列王記 3:28

「イスラエル人はみな、王が下したさばきを聞いて、王を恐れた。神の知恵が彼のうちにあって、さばきをするのを見たからである。」

3. 知恵は誰に必要なものか? : _____ (4-6)

※箴言 12:1

「訓戒を愛する人は知識を愛する。叱責を憎む者はまぬけ者だ。」

※箴言 13:13

「みことばをさげすむ者は身を滅ぼし、命令を敬う者は報いを受ける。」

※箴言 9:9

「知恵のある者に与えよ。彼はますます知恵を得よう。正しい者を教えよ。彼は理解を深めよう。」

4. 知恵は何から始まるか? : _____ (7)

※創世記 22:12

「御使いは仰せられた。「あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」」